

第53回埼玉県細胞検査士会鏡検セミナー

# 症例検討1 体腔液

# 症例

年 齡：30代


性 別：女性

臨床診断：卵巣癌の疑い  
大量腹水あり

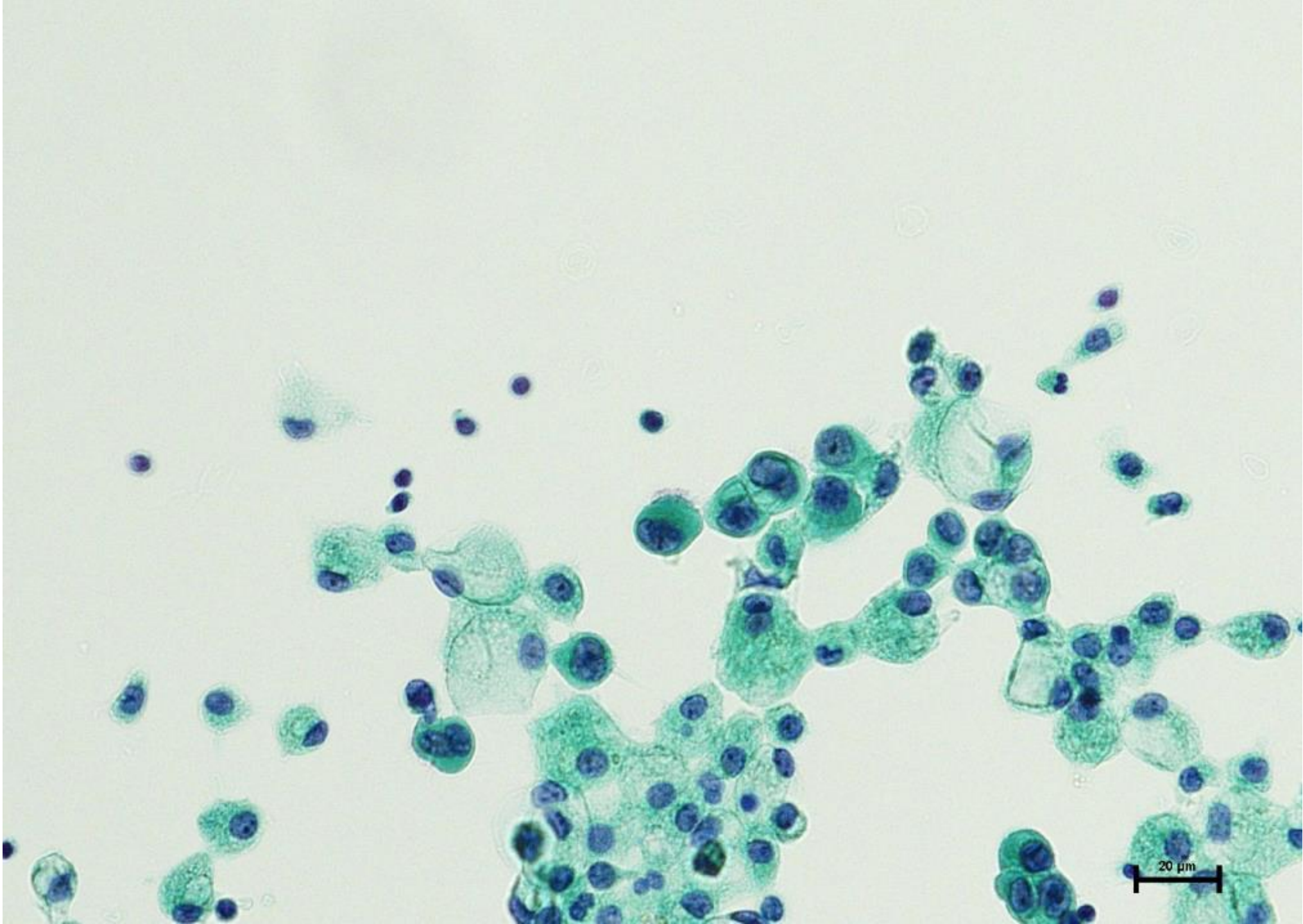
# 検体：腹水

パパニコロウ染色	： 2枚
メイ・グリーンワルドギムザ染色	： 1枚
Alcian blue染色	： 1枚
PAS反応	： 1枚

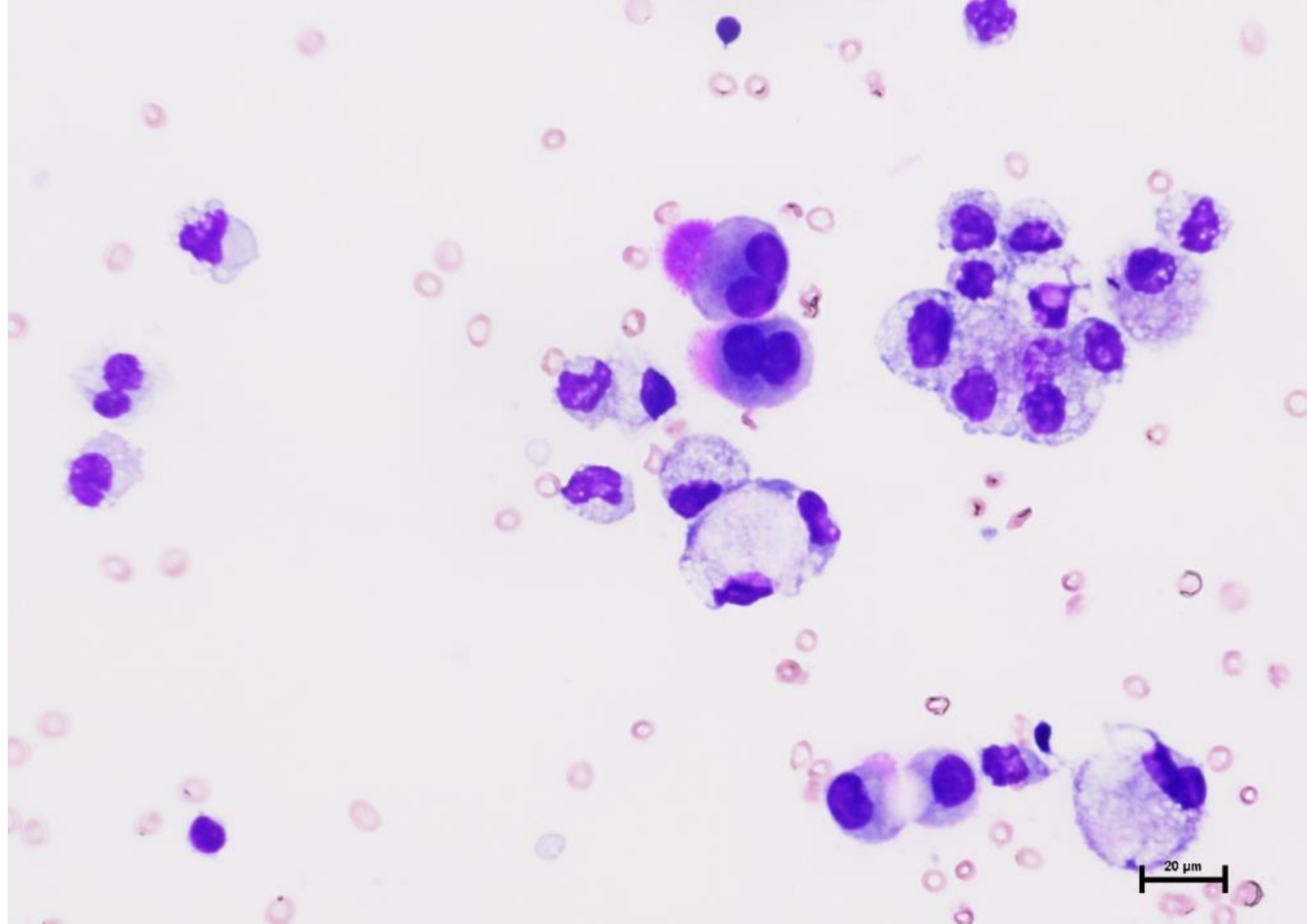
計5枚を引きガラス法にて作製

事前に提示した画像：

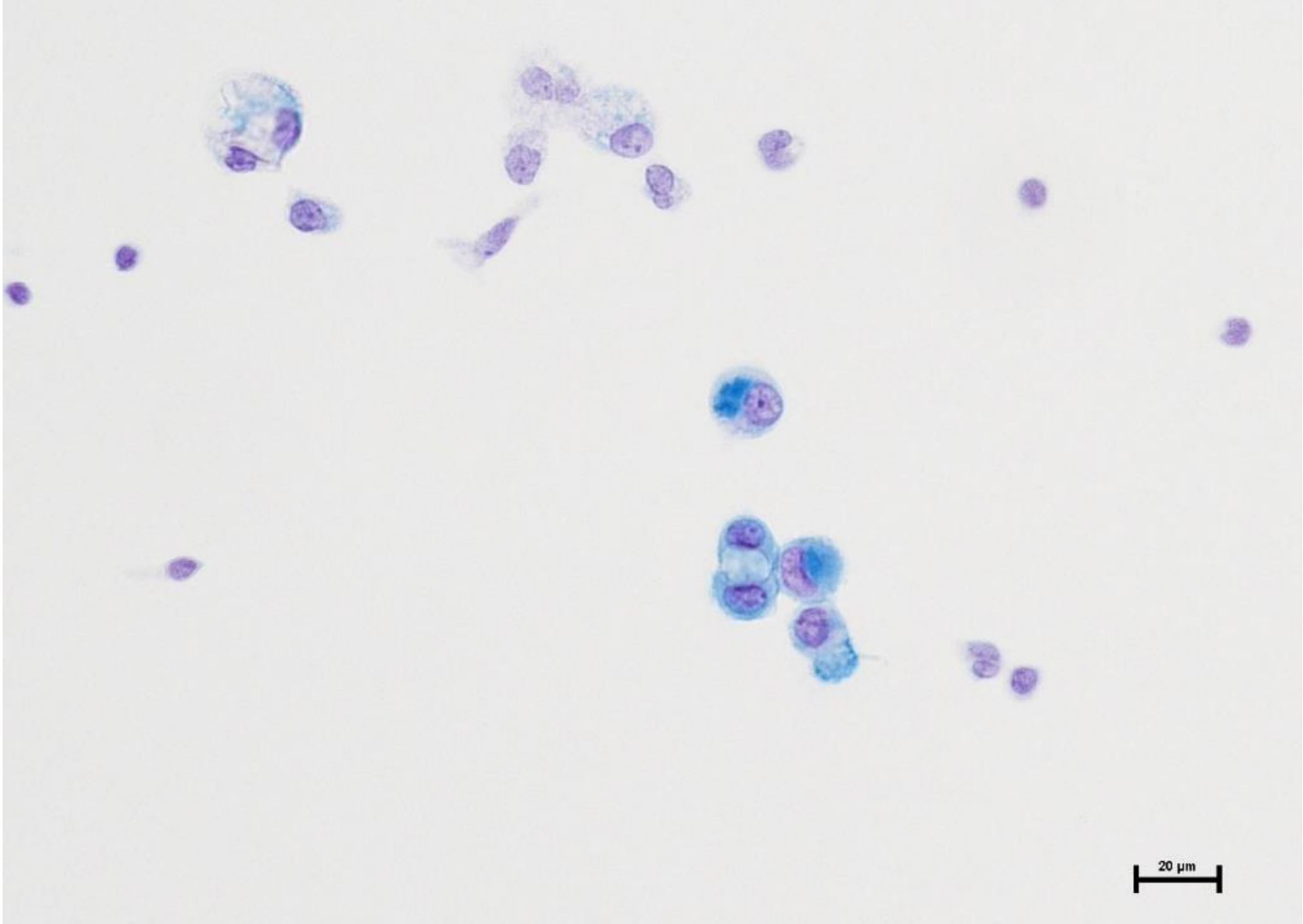
Pap



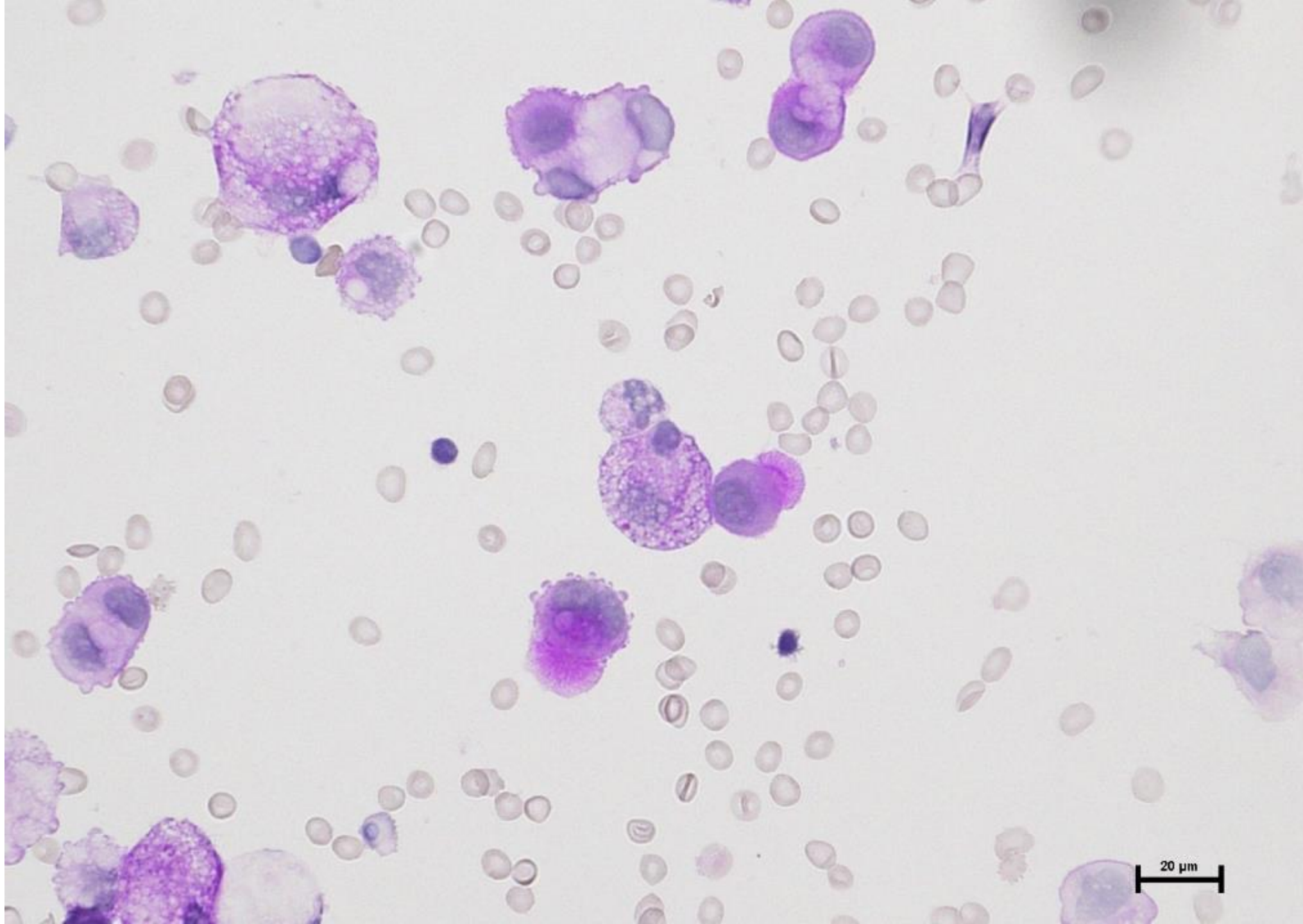
M-G



Alb



PAS



# 事前集計

## 選択肢

- 腫瘍細胞 13名
- 非腫瘍細胞 8名

選擇肢

反應性中皮細胞

胃癌

漿液性腫瘍

# 当日集計

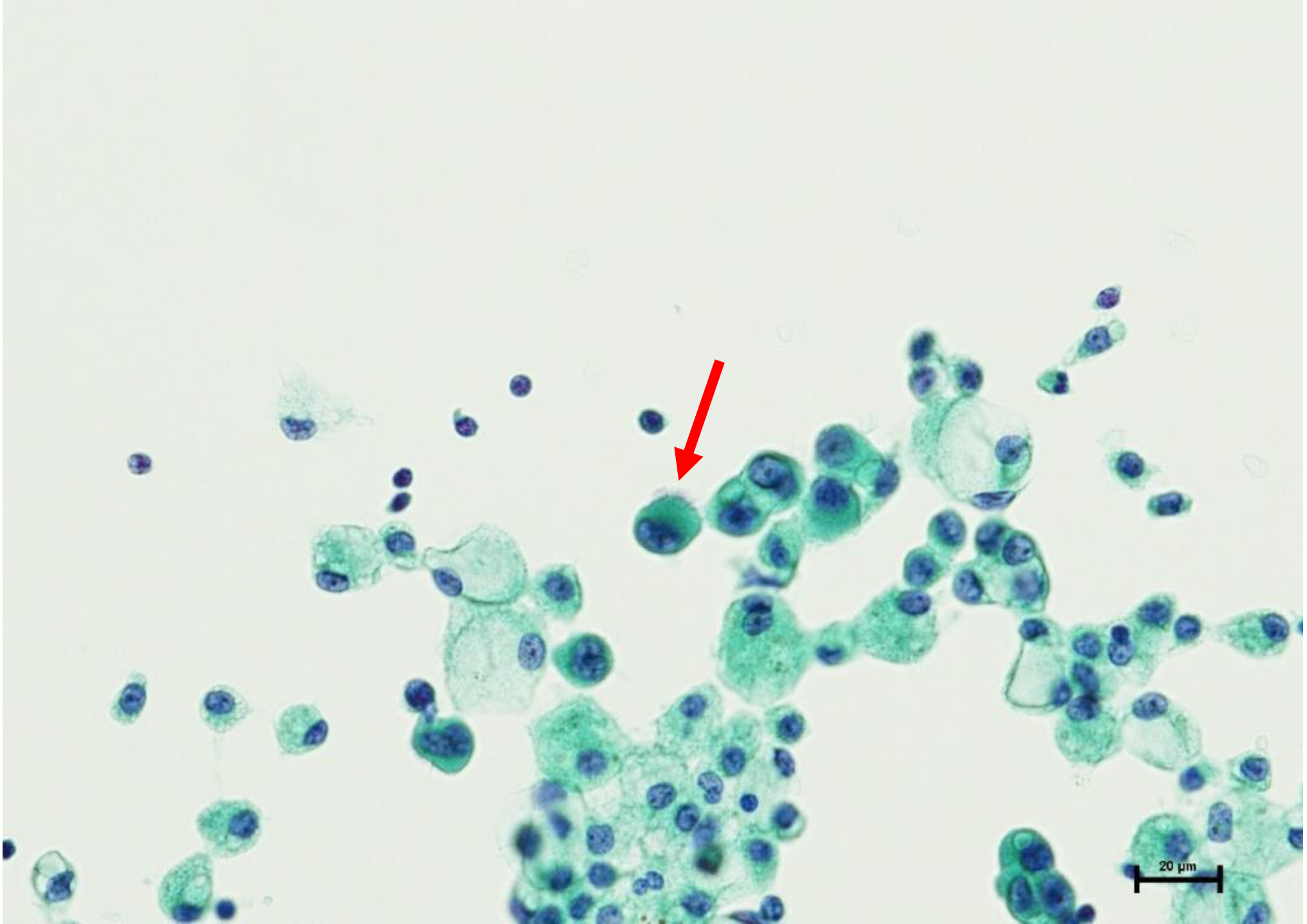
- 陽性 19名
- 陰性 8名
- 疑陽性 5名

# 当日集計

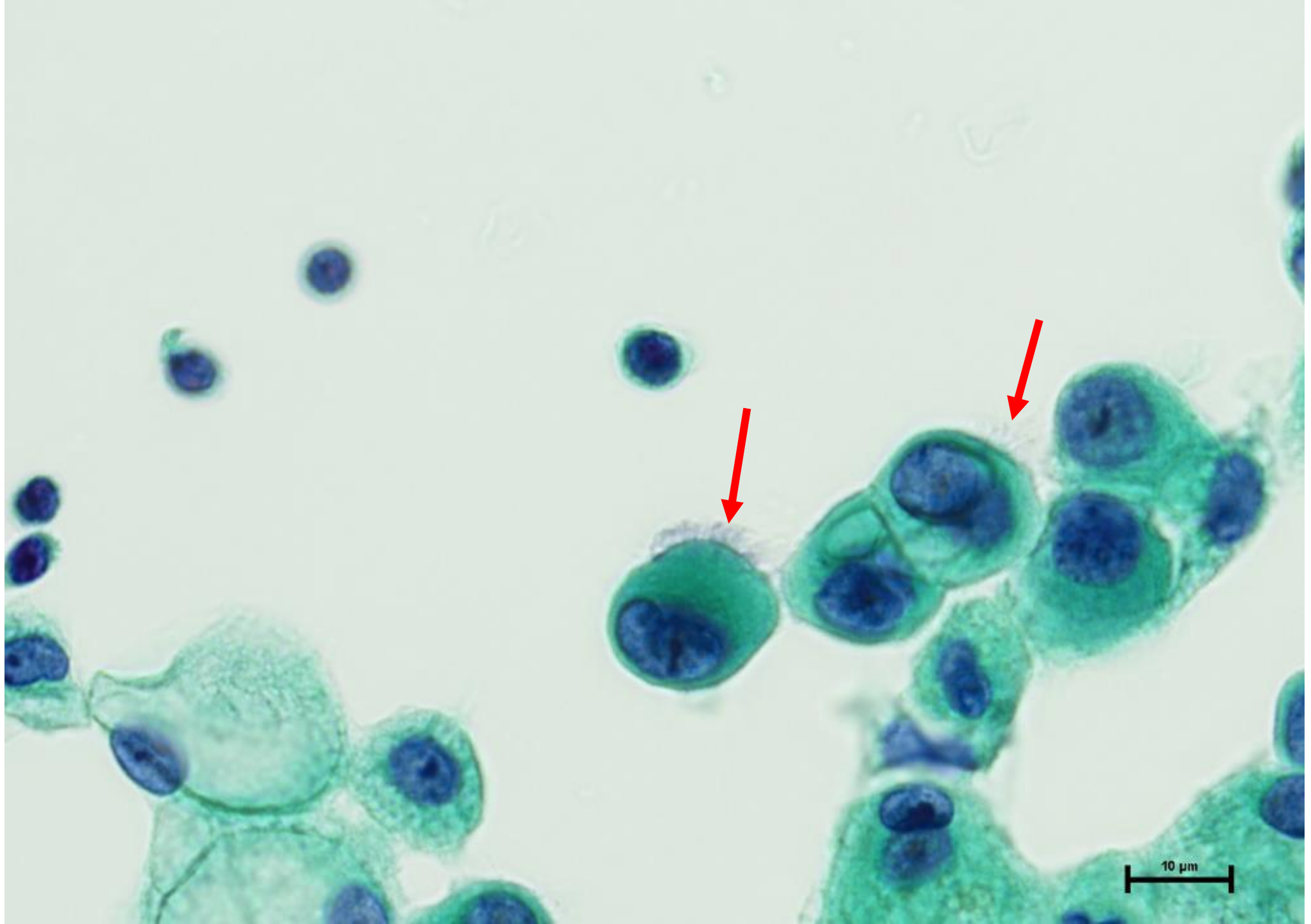
- 漿液性腫瘍 18名
- 反応性中皮細胞 11名
- 胃癌 5名

解説

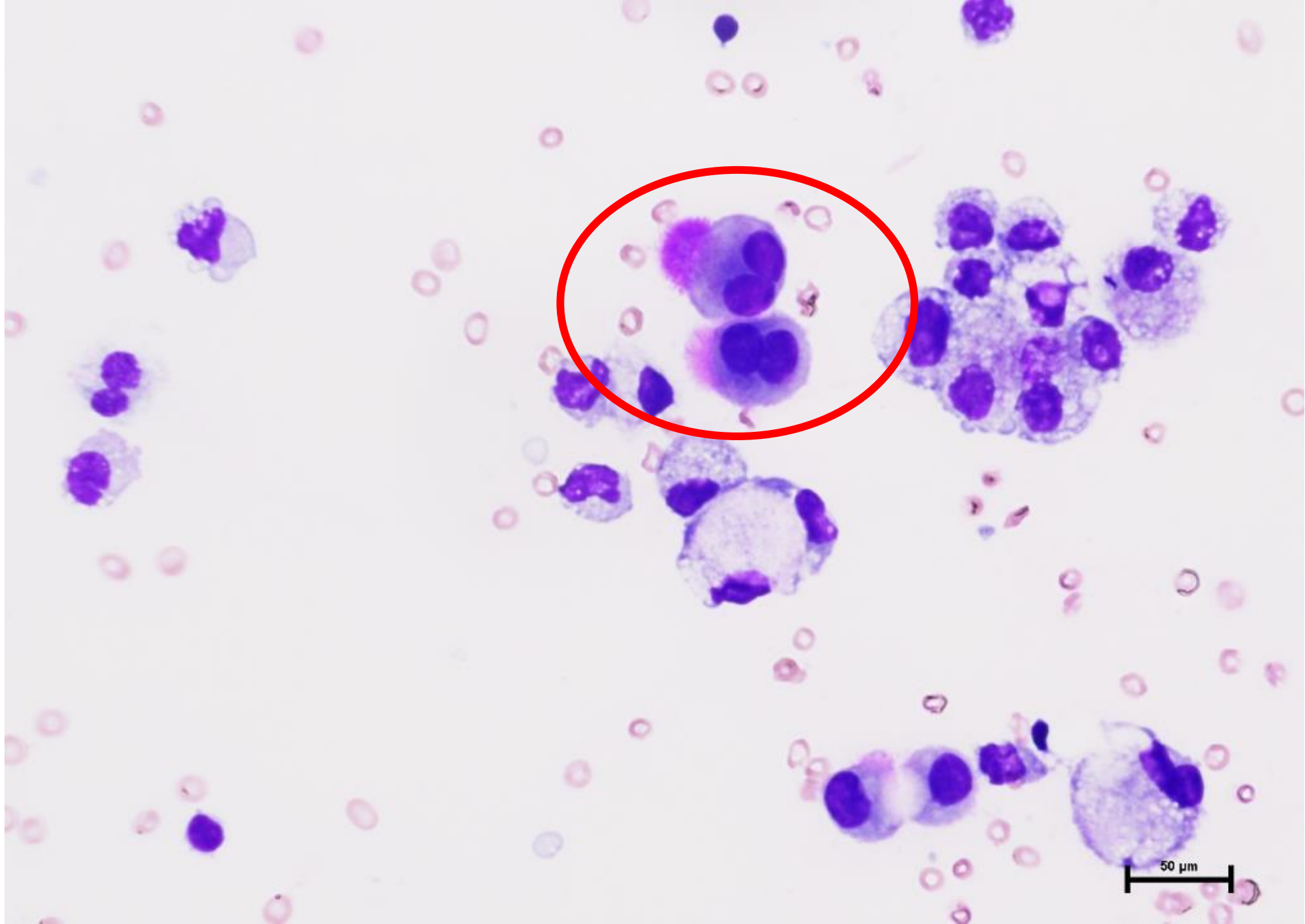
Pap



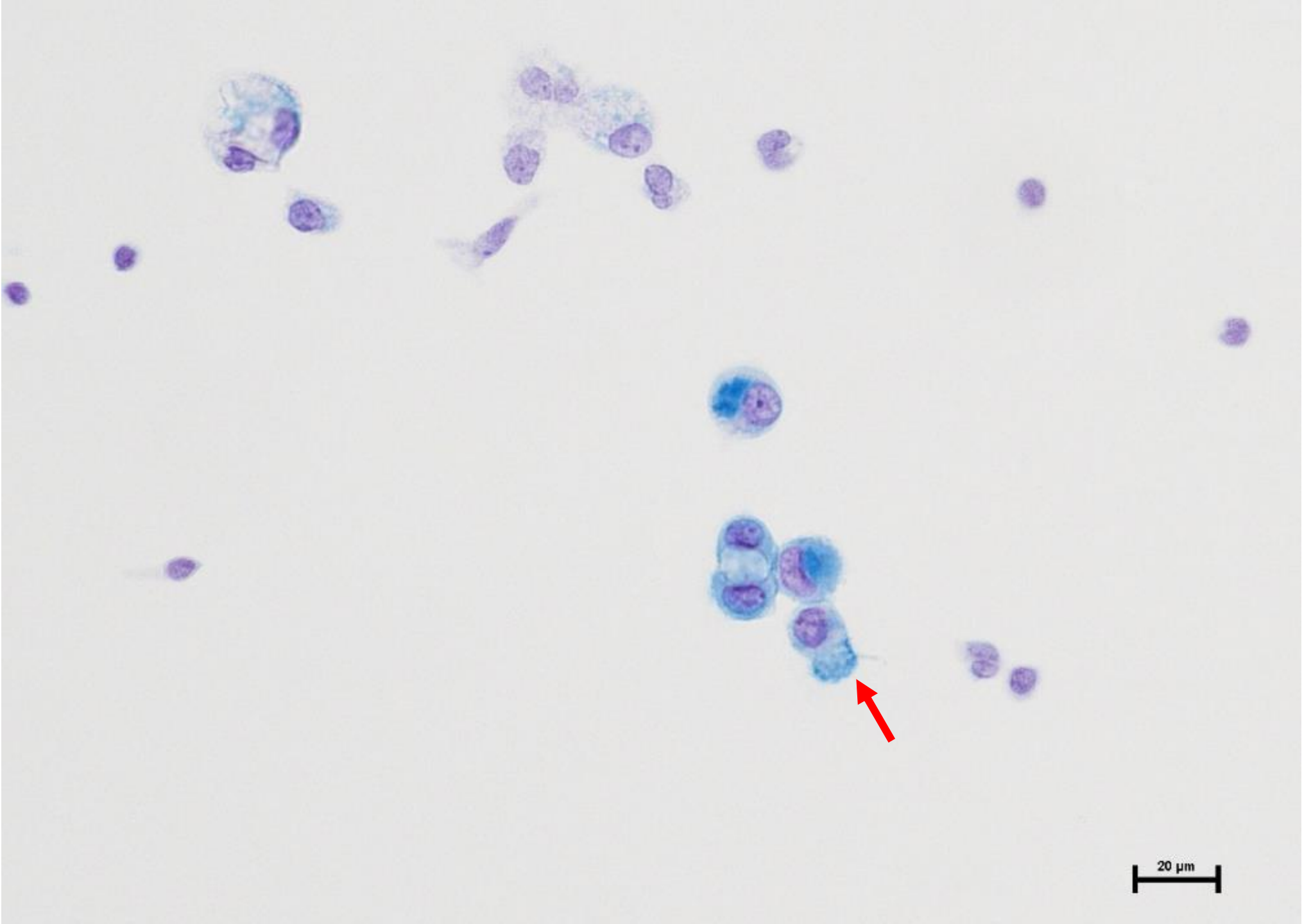
Pap



M-G



Alb



PAS



# 細胞診診断

疑陽性／腺系腫瘍細胞

腺系腫瘍，漿液性腫瘍の示唆

# セルブブロックによる免疫組織化学染色の検討

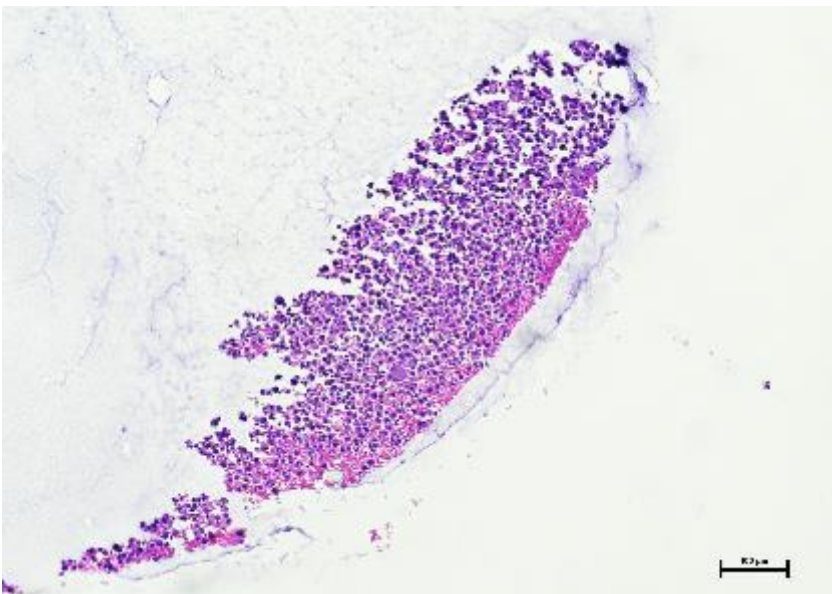
反応性中皮細胞 : Calretinin

組織球 : CD68

上皮系細胞 : Ber-EP4

漿液性腫瘍 : ER , PAX8

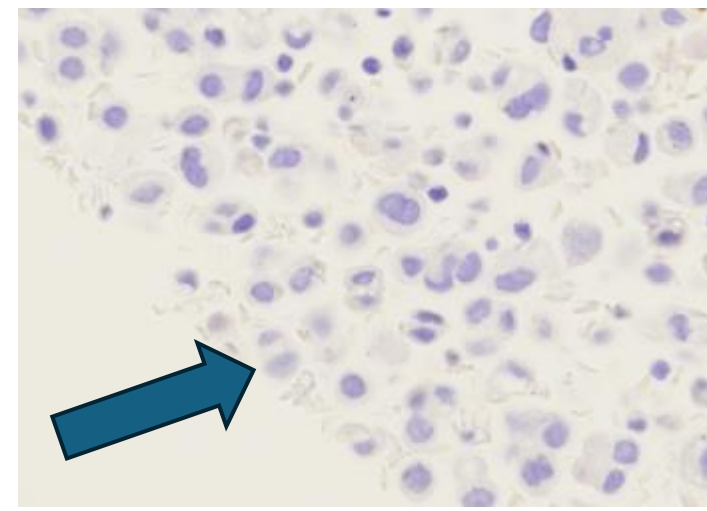
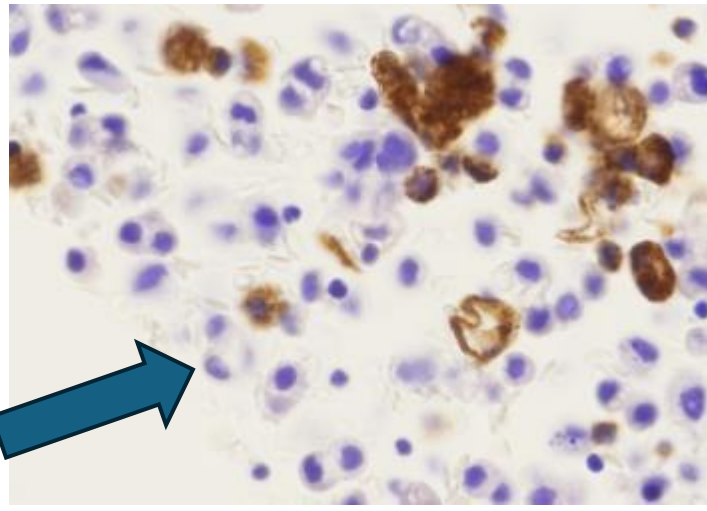
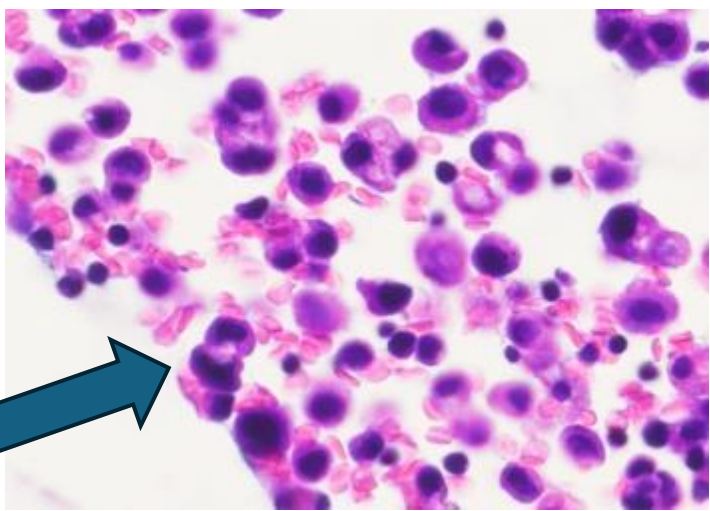
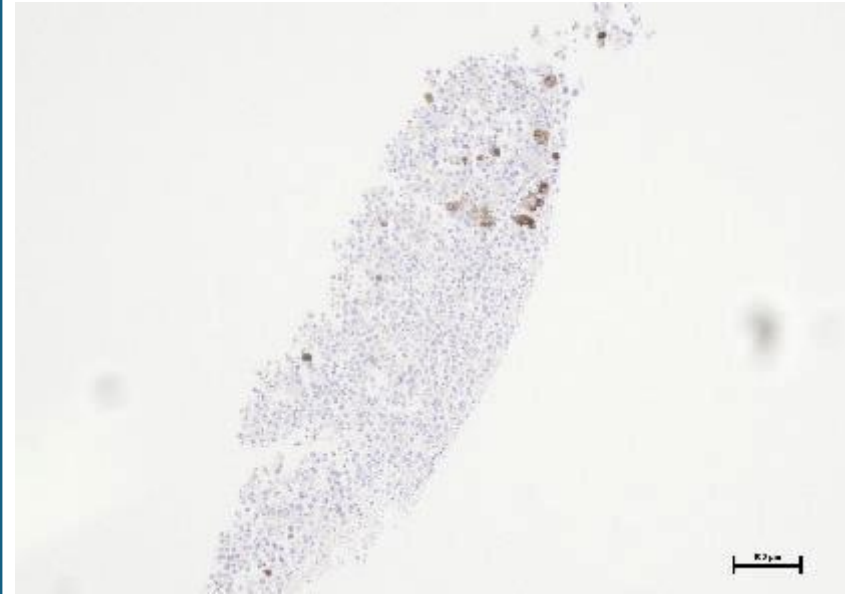
H&E



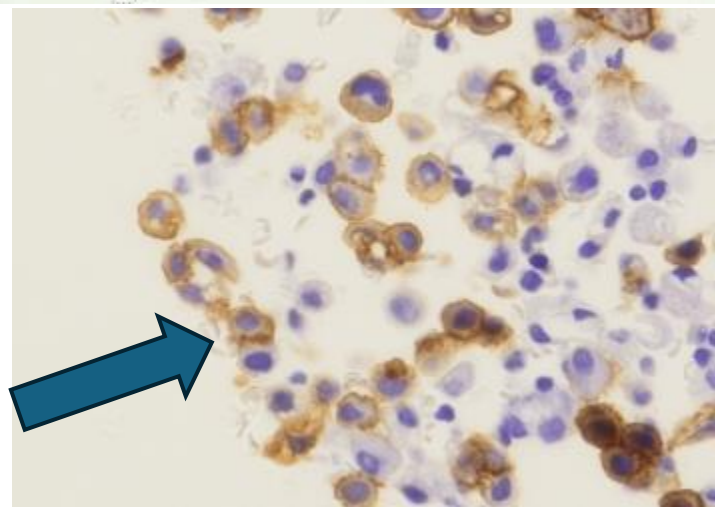
組織球マーカー  
CD68



中皮細胞マーカー  
Calretinin

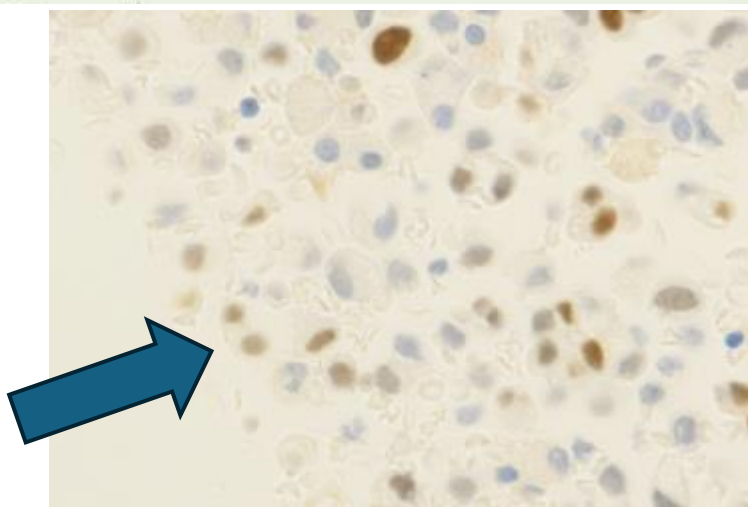


上皮系細胞マーカー  
Ber-EP4

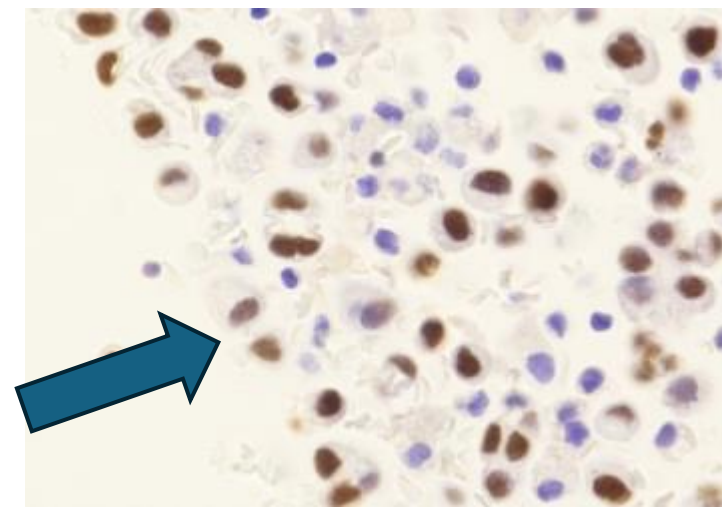
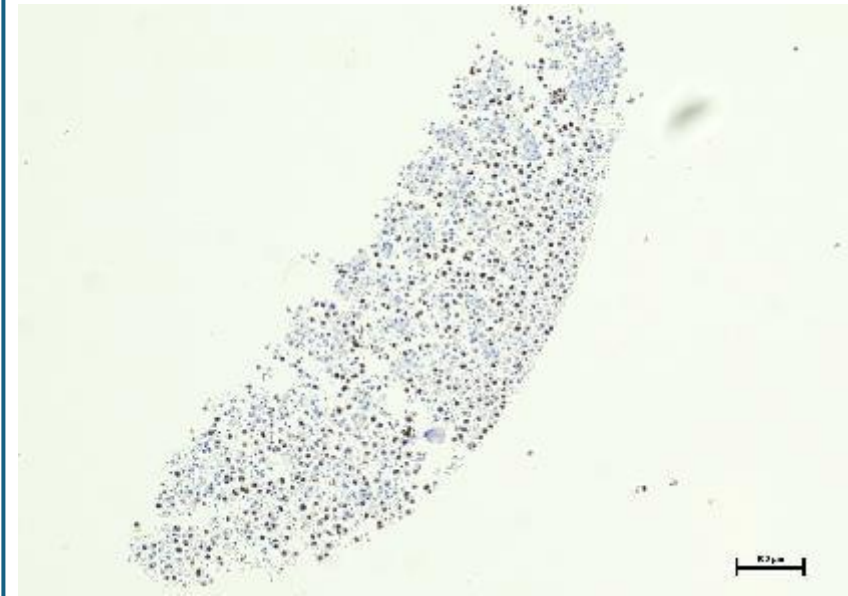


漿液性腫瘍マーカー

ER

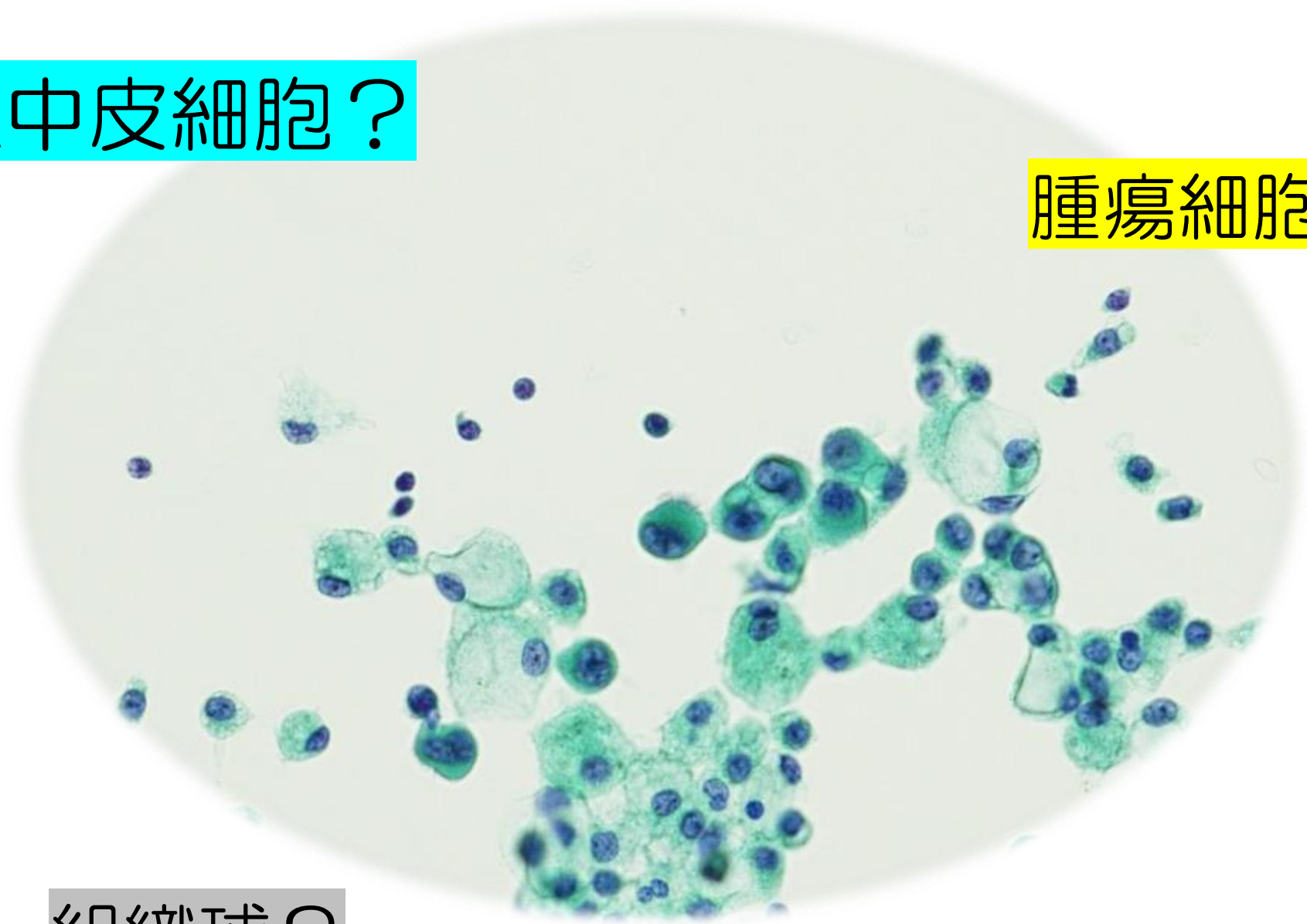


PAX8



反應性中皮細胞？

腫瘍細胞？



組織球？

腫瘍細胞

N/C比上昇  
核クロマチンの増量  
顆粒状化  
核に切れ込み

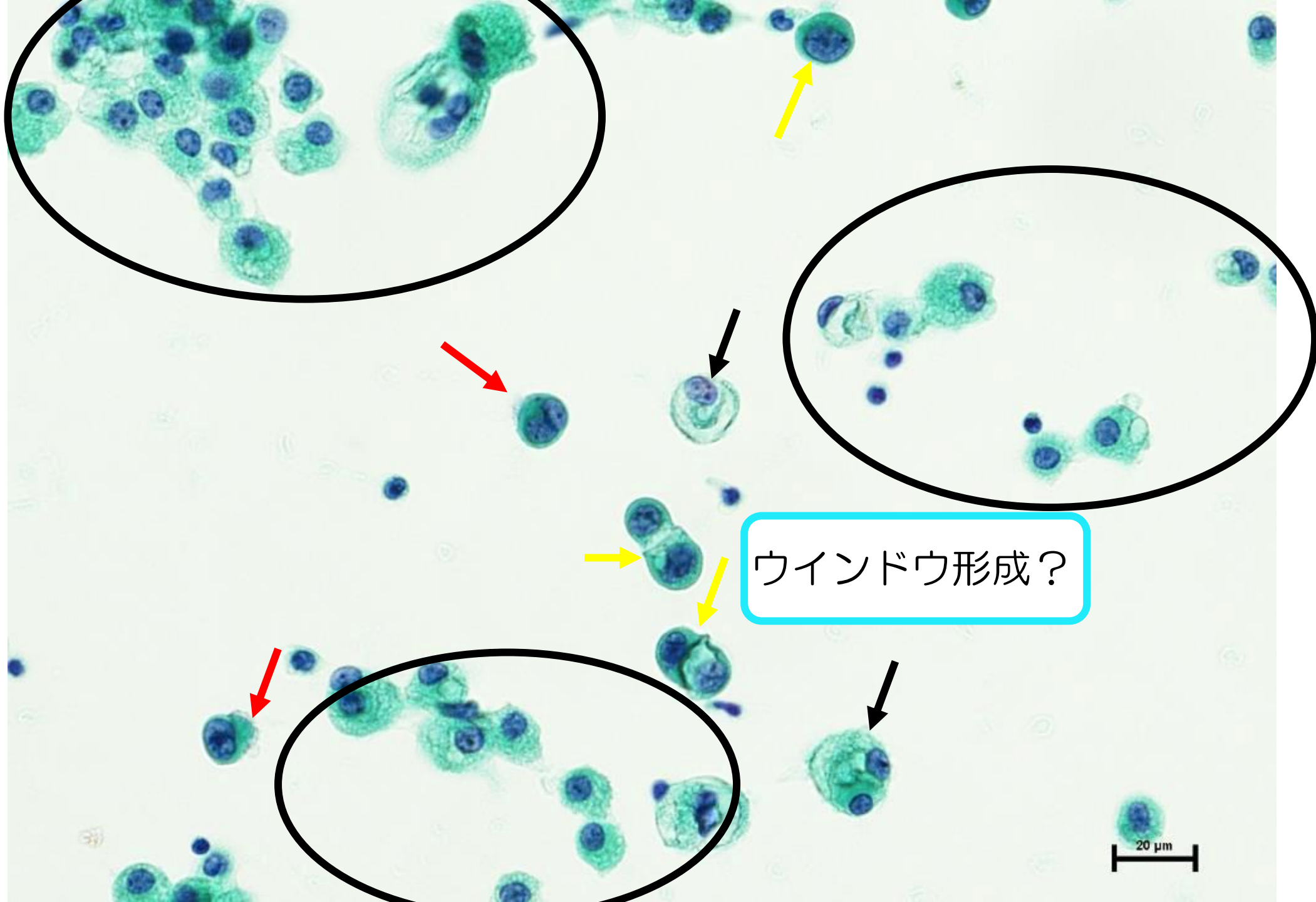
核小型  
核形不整なし  
ウィンドウ形成

中皮細胞かも？

核クロマチンの増量なし  
細胞質淡染性で辺縁に厚みがない  
N/C比低い

組織球

20 μm

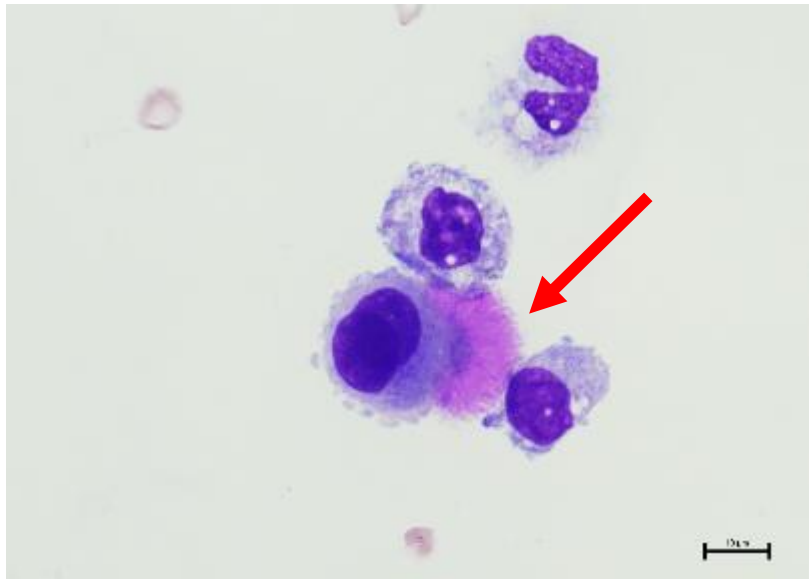


ウィンドウ形成?

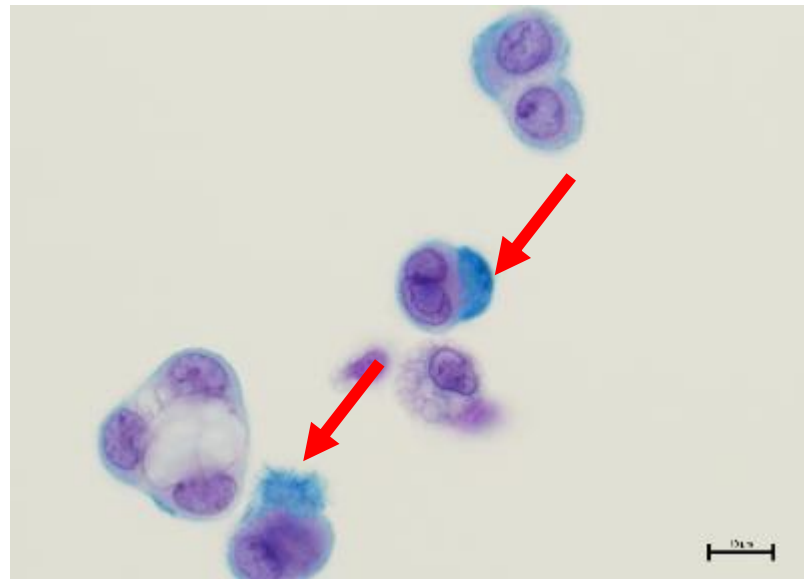
20 μm

# 特殊染色で観察された偽線毛（赤矢印）

M-G染色



Alcian blue染色

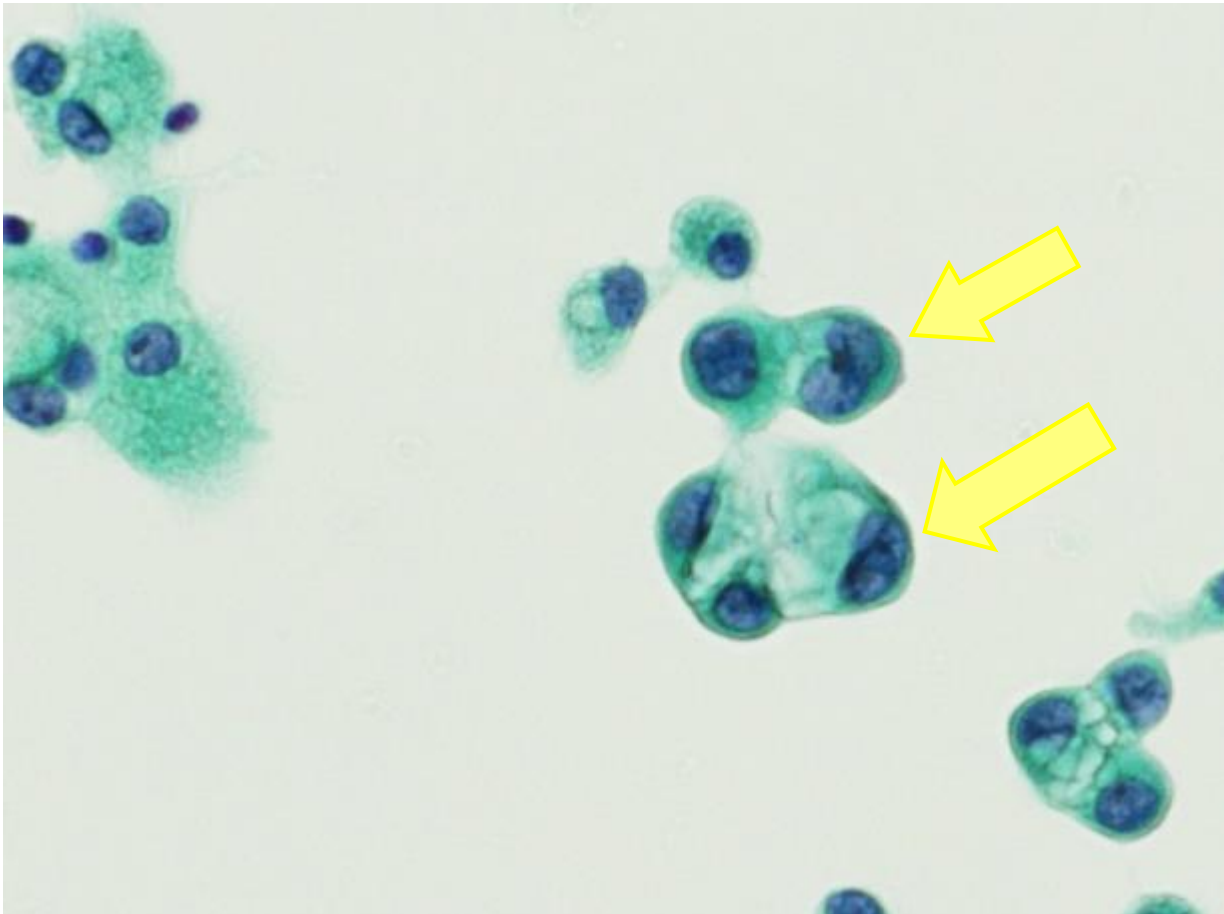


PAS反応

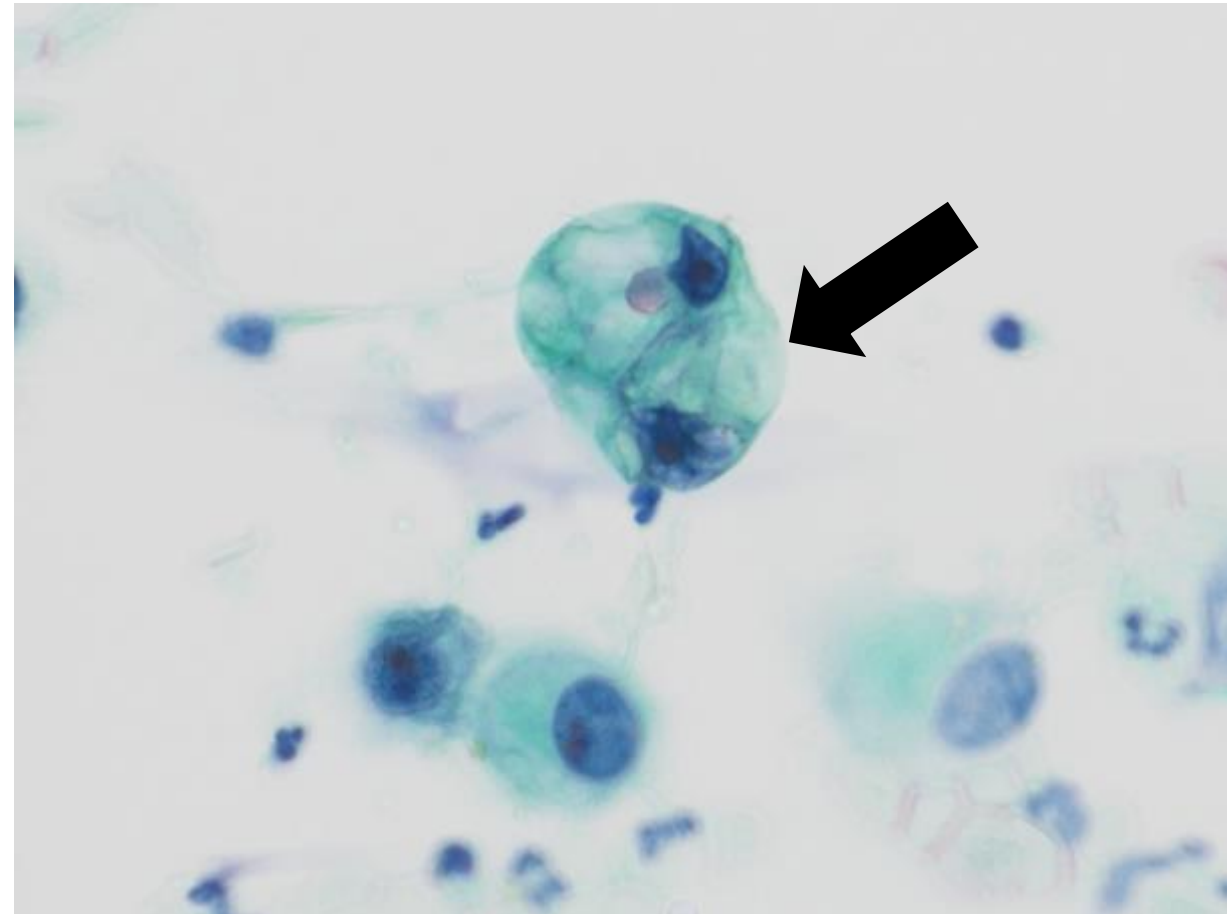


# 胃癌との鑑別

本症例（黄色矢印）



胃癌（黒矢印）



# 偽線毛が観察されたとき・・・

偽線毛がみられることのある腫瘍

- 悪性中皮腫
- 肺腺癌
- 胃癌
- 大腸癌
- 膀胱癌
- 漿液性腫瘍

細胞形態

特殊染色

検体材料

臨床情報

細胞診ガイドライン4, 基礎から学ぶ細胞診 参照

\* 偽線毛は反応性中皮細胞でもみられることがある為、必ずしも悪性を示唆するとは限らない

# まとめ

- 細胞異型の弱い腺系腫瘍細胞を提示した。
- 反応性中皮細胞や組織球との鑑別が困難であり、特殊染色の重要性を再認識した。
- 診断を引き上げたポイントの一つとして片側性の偽線毛を挙げた。
- 臨床情報のみには頼ることは誤診に繋がる可能性があるが、細胞所見だけでなく、臨床情報と併せた総合的な判断が重要である。